



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日 上場取引所 東

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション

コード番号 8119 URL http://www.sanyeicorp.com/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林敬幸

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平敏之 TEL 03-3847-3500

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	11, 321	19. 6	225	_	293	_	236	_
27年3月期第1四半期	9, 465	5. 6	△107	_	△96	-	△90	_

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 449百万円 (一%) 27年3月期第1四半期 △140百万円 (一%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	100. 25	97. 40
27年3月期第1四半期	△38. 37	△37. 37

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	20, 000	10, 386	51.5	4, 350. 67
27年3月期	20, 721	10, 055	48. 0	4, 228. 60

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 10,292百万円 27年3月期 9,936百万円

2. 配当の状況

2. 能当0次元								
	年間配当金							
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末						
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
27年3月期	_	40. 00	_	50. 00	90. 00			
28年3月期	_							
28年3月期(予想)		50.00	_	50.00	100.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭		
第2四半期(累計)	22, 000	9. 3	650	393. 2	700	294. 1	560	761.8	236. 72		
通期	46, 000	3. 5	1, 500	92. 2	1, 500	47. 2	1, 000	72. 2	422. 71		

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無 新規一社 (社名) 、除外一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	2, 552, 946株	27年3月期	2, 552, 946株
28年3月期1Q	187, 252株	27年3月期	203, 052株
28年3月期1Q	2, 355, 161株	27年3月期1Q	2, 346, 812株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引 法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復を背景として、雇用や所得環境に改善が見られるとともに、設備投資意欲が企業規模を問わず広がり始めるなど、緩やかな景気回復基調を維持しました。しかしながら、個人消費には依然として力強さが欠けており、外需面においても、不安定な欧州情勢や中国経済の減速など懸念材料が多く、先行き不透明な状況が継続しました。

こうした状況下、当第1四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、全ての報告セグメントで売り上げ が順調に積み上がり、前年同期比19.6%増加の113億2千1百万円となりました。

利益面につきましては、売上総利益率が前年同期比0.9%低下しましたが、売上高の増加により、売上総利益は同3億4千万円増加した26億4百万円となりました。また、販管費比率が前年同期比4.1%の減少となるなど、販管費が前年同期並みの水準となったことから、営業利益は同3億3千2百万円改善した2億2千5百万円となりました。経常利益につきましては、投資有価証券の配当金等の営業外収益が加わり、前年同期比3億8千9百万円増加の2億9千3百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億2千6百万円増加の2億3千6百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(家具・家庭用品事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比17.2%増加の57億2千3百万円となりました。0EM事業では、国内専門店向けリビング家具の売り上げが堅調に推移したほか、米国向けキッチン・クッキング用品の売り上げも順調に積み上がりました。ブランド事業においては、独「WMF」「Sillit」ブランド製品等を扱うヴェーエムエフジャパンコンシューマーグッズ㈱の売り上げが増加しました。

セグメント利益については、売上総利益率の改善により、前年同期の2百万円から大きく改善した1億6千3百万円となりました。

(服飾雑貨事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比16.4%増加の29億8千1百万円となりました。0EM事業では、国内専門店向けのトラベル商材の売り上げが引き続き順調に積み上がりました。ブランド事業においては、ドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」の売り上げが増加したほか、ベルギー発祥のファッションバッグブランドの「キプリング」事業を営む販売子会社㈱L&Sコーポレーションも順調に売り上げを伸ばしました。

セグメント利益については、売上高の増加を主因に、前年同期から8千8百万円改善した6千5百万円となりました。

(家電事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比13.4%増加の13億6千9百万円となりました。0EM事業では、三發電器製造廠有限公司の売上高が若干減少しましたが、小物生活家電の海外向け売り上げが大きく伸長しました。ブランド事業においては、㈱mhエンタープライズの売り上げが前年並みの水準に留まりました。

セグメント利益については、売上高の増加を主因に、前年同期の3千2百万円から7千8百万円改善した1億1千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計期間末に比べ7億2千1百万円減少の200億円となりました。 主な資産の変動は、「現金及び預金」が2億1千1百万円、「受取手形及び売掛金」が6億4千7百万円、「商品及び 製品」が2億7千1百万円、それぞれ減少している一方、「投資有価証券」が5億4千6百万円増加しております。

主な負債の変動は、「短期借入金」が11億8千7百万円減少しております。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が1億1千8百万円、「その他有価証券評価差額金」が3億6千7百万円、それぞれ増加しております。

この結果、自己資本比率は51.5%、1株当たり純資産は4,350円67銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成27年5月13日付「平成27年3月期決算短信」にて発表いたしました平成28年3月期の業績予想(連結・個別)を修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
 - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
 - (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
 - ① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 032, 740	1, 820, 985
受取手形及び売掛金	6, 074, 884	5, 427, 436
有価証券	10,829	10, 836
商品及び製品	5, 656, 674	5, 384, 758
仕掛品	84, 809	49, 293
原材料及び貯蔵品	123, 195	88, 246
繰延税金資産	107, 433	171, 418
前渡金	180, 350	175, 567
前払費用	119, 386	108, 991
短期貸付金	478	1, 473
その他	731, 575	516, 054
貸倒引当金	△6, 442	$\triangle 5,707$
流動資産合計	15, 115, 912	13, 749, 353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1, 328, 697	1, 337, 265
機械装置及び運搬具(純額)	141, 217	146, 992
工具、器具及び備品(純額)	136, 618	151, 160
土地	814, 683	814, 683
リース資産(純額)	31,646	29, 636
建設仮勘定	44, 106	101, 898
有形固定資産合計	2, 496, 971	2, 581, 636
無形固定資産		
無形固定資産合計	361, 597	353, 073
投資その他の資産		
投資有価証券	2, 190, 228	2, 737, 068
長期貸付金	15, 071	14, 906
繰延税金資産	34, 965	35, 882
破産更生債権等	844	844
その他	556, 052	578, 341
貸倒引当金	△50, 041	△50, 576
投資その他の資産合計	2, 747, 121	3, 316, 466
固定資産合計	5, 605, 689	6, 251, 176
資産合計	20, 721, 602	20, 000, 529

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 571, 420	1, 659, 017
短期借入金	4, 607, 908	3, 420, 250
1年内返済予定の長期借入金	· -	200, 000
リース債務	8, 442	8, 44
未払法人税等	128, 257	89, 979
繰延税金負債	5, 158	· <u>-</u>
賞与引当金	338, 870	282, 53
役員賞与引当金	24, 929	6, 47
未払金	1, 241, 238	1, 077, 98
未払費用	373, 812	276, 88
未払消費税等	52, 243	64, 83
その他	396, 878	633, 80
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	8, 749, 156	7, 720, 20
固定負債		,,,,,,,
長期借入金	1, 200, 000	1, 000, 00
リース債務	24, 786	22, 67
繰延税金負債	361, 127	547, 06
再評価に係る繰延税金負債	73, 993	73, 99
退職給付に係る負債	166, 748	157, 67
役員退職慰労引当金	26, 120	27, 48
資産除去債務	54, 944	55, 10
その他	9, 600	9, 60
固定負債合計	1, 917, 322	1, 893, 598
負債合計	10, 666, 479	9, 613, 80
東原ロ町 純資産の部	10, 000, 479	9, 013, 80
株主資本 資本金	1 000 014	1 000 01
	1, 000, 914	1,000,91
資本剰余金	647, 693	650, 81
利益剰余金	7, 319, 072	7, 437, 68
自己株式	△266, 132	△245, 43
株主資本合計	8, 701, 548	8, 843, 98
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861, 012	1, 228, 81
繰延ヘッジ損益	195, 411	50, 56
土地再評価差額金	71, 581	71, 58
為替換算調整勘定	107, 218	97, 39
その他の包括利益累計額合計	1, 235, 225	1, 448, 36
新株予約権	104, 686	80, 88
非支配株主持分	13, 663	13, 49
純資産合計	10, 055, 123	10, 386, 726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

		(十四:111)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	9, 465, 295	11, 321, 983
売上原価	7, 200, 894	8, 717, 356
売上総利益	2, 264, 401	2, 604, 626
販売費及び一般管理費		
販売費	516, 568	507, 132
一般管理費	1, 855, 781	1, 872, 457
販売費及び一般管理費合計	2, 372, 350	2, 379, 589
営業利益又は営業損失(△)	△107, 948	225, 037
営業外収益		
受取利息	696	2, 911
受取配当金	13, 711	21, 034
為替差益	4, 748	55, 742
その他	5, 650	7, 740
営業外収益合計	24, 806	87, 428
営業外費用		
支払利息	12, 959	15, 237
デリバティブ評価損	_	3, 305
その他	380	471
営業外費用合計	13, 340	19, 015
経常利益又は経常損失(△)	△96, 482	293, 450
特別利益		
固定資産売却益		1, 155
特別利益合計	_	1, 155
特別損失		
固定資産除却損	1, 862	2, 125
減損損失	73	_
その他	203	_
特別損失合計	2, 138	2, 125
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△98, 620	292, 480
法人税、住民税及び事業税	39, 239	56, 894
法人税等調整額	△48, 126	△357
法人税等合計	△8,886	56, 537
四半期純利益又は四半期純損失(△)		235, 943
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	304	△167
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△90, 038	236, 111

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89, 734	235, 943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85, 186	367, 806
繰延へッジ損益	△94 , 705	△144 , 845
為替換算調整勘定	△41, 457	△9 , 821
その他の包括利益合計	△50, 976	213, 139
四半期包括利益	△140, 710	449, 082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△141, 015	449, 250
非支配株主に係る四半期包括利益	304	△167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セク	セグメント		その他		調整額	四半期連結 損益計算書
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額(注)3
売上高								
外部顧客への売上高	4, 883, 641	2, 561, 389	1, 207, 208	8, 652, 239	813, 056	9, 465, 295	_	9, 465, 295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3, 311	4, 958	2, 793	11, 064	16, 310	27, 374	△27, 374	_
計	4, 886, 953	2, 566, 347	1, 210, 002	8, 663, 303	829, 366	9, 492, 670	△27, 374	9, 465, 295
セグメント利益又 は損失 (△)	2, 402	△22, 921	32, 231	11, 711	△18, 926	△7, 214	△100, 733	△107, 948

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
 - 2 セグメント利益又は損失 (\triangle) の調整額 \triangle 100,733千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
 - 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 - Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他		調整額	四半期連結 損益計算書
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額(注)3
売上高								
外部顧客への売上高	5, 723, 609	2, 981, 007	1, 369, 511	10, 074, 127	1, 247, 855	11, 321, 983	_	11, 321, 983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2, 951	_	2, 496	5, 447	15, 246	20, 694	△20, 694	_
計	5, 726, 561	2, 981, 007	1, 372, 007	10, 079, 575	1, 263, 101	11, 342, 677	△20, 694	11, 321, 983
セグメント利益又 は損失 (△)	163, 375	65, 238	110, 685	339, 299	△5, 687	333, 612	△108, 575	225, 037

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
 - 2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△108,575千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
 - 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。